

令和6年度 卒業論文要旨

学 生 氏 名	吉 澤 典
論 文 タ イ ト ル	成熟・衰退市場における脱成熟化のプロセス
要 旨	本論文では、ビール市場を対象として、製品レベルと市場レベルという異なるレベルで生じる脱成熟化について考察している。近年、消費者のニーズが多様化する風潮もあり、多くの市場で主たる製品や企業の入替わりが激しくなっている。市場が安定的であった時代と比べ、企業が長期的かつ安定的に競争優位性を獲得することは難しい。競争戦略の分野では、企業は一見すると長期的に競争優位性を維持しているように見えるが、実は短期的な競争優位性の確立を繰り返しているのだと捉える視点がある。このような競争観では、ライフサイクル上の成熟・衰退期に入った市場の再成長を促す「脱成熟化」が鍵になる。本研究では、成熟・衰退期にあるビール市場において、「主要企業が新製品開発によって製品レベルの脱成熟化を行い、また、各社の新製品開発が連鎖することによって市場レベルでも脱成熟化が起こる」という一連のメカニズムを明らかにした。